

平成21年度 ボランティア活動報告書

ボランティア団体名： **おでかけ隊**

代表者氏名： 三野宮 慎吾 隊長

連絡先：

事務局： 荒川 麻弥子

TEL.FAX:011-742-2586

<活 動 報 告>

- ◆2003年春より、「さやかちゃん」の社会生活のお手伝いをさせていただいています。さやかちゃんは、難病により1歳から人工呼吸器を装着して、ご家族の渾身の介護を受けながら在宅生活をしています。発足当初は、介護の殆んどを担っているお母さんに随行して、移動が難しい為に外出の機会が無かったさやかちゃんと家の外に出ること、すなわち「おでかけ」からスタートしました。
- ◆最初のころは「おでかけ」も大冒険でしたが、外出の経験を積むことで安全な外出が可能であることが評価され、施設への通所が認められました。
- ◆さやかちゃんの成長と共に、呼吸器がコンパクトになったりストレッチャーがバギーになったりと、移動に困難だった問題も次々と改良され、通所の随行にヘルパー派遣が認められるようになりました。

<活 動 課 題>

- ◆2008年春から養護学校へ入学しましたが、江別には養護学校がないため札幌市内の養護学校への登校がスタートしました。ところが遠距離のため、冬季は江別市の公的支援が受けられない事態が起きてしまいました。ボランティアのメンバーの多くが市外在住の社会人のため、登校の支援を行うのは大変困難です。結局、冬期の通学は断念するというのが現実となっています。家庭に出向いて絵本の読み聞かせをしたり、時間的に余裕のあるレクレーションなどのお手伝いのみになっているのが現状ですが、活動場面を増やせるよう、継続して努力していきます。

<新たな取組み>

- ◆江別市では、人工呼吸器を装着されて在宅されている方は非常に稀です。彼女の存在によって江別市が少しでもより良い方向へ整備されて行くことを願ってやみません。できる限りの範囲で啓蒙活動をさせていただきます。
- ◆三好 昇 江別市長さんは、昨年につき今年度も江別市のホームページの中で、この様にご挨拶されています。
「私はこれからの江別を支える子どもたちが、夢と希望の持てる地域づくりをすすめます。お年寄りの方々に「住んで良かった」、そして子どもたちには「住み続けたい」と思ってもらえるオンリーワンの街づくりを市民の皆さんと一緒に取り組み、次代に引き継ぐことが、私に課せられた使命と考えています。市民のみなさんのお力添えをお願いいたします。」
変わらぬこのシンプルなメッセージが確実に実現されていきますように祈っています。